

企業ニュース コシダカホールディングス

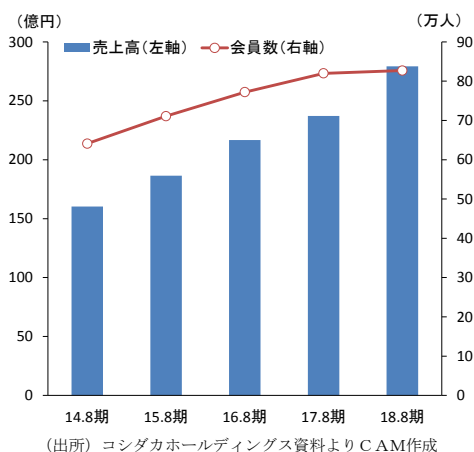
(東証1部：2157) <http://www.koshidakaholdings.co.jp/>

作成者：荒木晶子

カーブス事業の中長期的な成長に期待

1967年設立。カラオケ店の「まねきねこ」や「ワンカラ」、30分プログラムの女性専用フィットネスクラブの「カーブス」、温浴施設の「まねきの湯」などの余暇施設を運営する。18.8期のセグメント別売上高構成比は、カラオケ事業51.7%、カーブス事業45.2%、温浴事業2.6%、不動産管理事業0.5%。カーブスは、利益構成比の約6割を占める主力事業である。2018年3月、米国のカーブスインターナショナルホールディングスを買収した。自社でカーブスの海外展開が可能となり、中長期での成長が見込まれる。また、11月13日、長野県で男性向けの「メンズ・カーブス」を開業予定であり、国内でも新たな顧客層の取り込みが期待される。

◇カーブス事業の売上高と会員数の推移



カラオケ事業、カーブス事業ともに2桁増益

18.8期の連結業績は、売上高が618億円、前期比12%増、営業利益が79億円、同28%増。計画に対して、売上高で22億円、営業利益で5億円上振れて着地した。カラオケ事業は、前期比8%増収、同54%増益と収益性が改善した。首都圏を中心とした出店による認知度向上で売上高が増加した他、出店費用などの経費が減少した。カーブス事業は同18%増収、同14%増益。会員数の増加率は鈍化したが、新しいプロテインの投入が貢献し、物販の売上げが伸長した。

19.8期の通期会社計画は、売上高が660億円、前期比7%増、営業利益が93億円、同19%増。カラオケ事業は同10%増収、同22%増益を見込む。出店は駅前繁華街を中心に35店を計画しており、既存店の増室やリニューアルも継続する。また、海外出店も積極的に行う方針。カーブス事業は同3%増収、同11%増益を見込む。運動習慣を広めることを目的に地方自治体との連携を強め、店舗数と会員数の増加を図る。また、物販にも注力する。

【株価動向・投資判断】

好業績を背景に株価は上昇したが、カラオケ事業の復調とカーブス事業の持続的な成長により、さらなる上昇余地がある。

<2157 コシダカHD 業績：日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
17.8	55,283 (8)	6,146 (28)	6,354 (35)	3,255 (71)	174.5	記36.00
18.8	61,771 (12)	7,858 (28)	8,207 (29)	4,426 (36)	54.4	25.00
19.8 予	66,044 (7)	9,345 (19)	9,307 (13)	5,205 (18)	64.0	12.00

(注) 18年6月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施



[主要株価指標]	(売買単位：100株)
株価 (2018/10/22)	1,376 円
年初来高値 (高値日)	1,797 円 (18/6/13)
同 安値 (安値日)	1,072 円 (18/8/22)
予想 P E R (19.8 予)	21.5 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	315.5 円
P B R	4.36 倍
予想配当利回り	0.87 %
(1株当たり配当金年12.00円)	
R O E (18.8)	18.7 %
発行済み株式数	8,230 万株